

三宅島の現状（その 83）

三宅村災害対策本部（三宅島）

平成 16 年 7 月 2 9 日

【気象及び火山活動状況】 7 月 11 日～7 月 25 日

今期間の気象状況は、高気圧に覆われて全般に晴天が続きました。期間の終わりの 23 日、伊豆諸島付近は気圧の谷の影響で、大気の状態が不安定となったため、一時的に雷を伴った降水があり、阿古では 38 ミリの日降水量を観測しました。

火山の活動状況は、12 日に火口上 600m まで上昇する白色の噴煙を観測しました。なお、今期間は三宅島近海を震源とした有感地震はありませんでした。

20 日、東京消防庁の協力により火山ガス放出量の観測を実施した結果、約 9,000～約 14,400 トン/日を観測しました。

今期間の島内でのガス濃度（SO₂）は、12 日に三宅村役場で最大 7.3ppm を観測しました（東京都環境局観測）。

【現地帰島対策本部設置】

7 月 21 日に新宿総合事務所に「三宅村帰島対策本部」が設置されたことを受けて、島内にも 27 日に「現地帰島対策本部」を開設し村長、村議会議長が出席して開設式を伊豆避難施設で行いました。帰島対策本部では今まで運営していた災害対策本部の機能に加えて、家屋修繕に関することや事業者の再開に備えた諸調整および一時帰宅の保安業務などの業務を行っていきます。また、東京都でも「帰島支援現地対策本部」が同時に設置されました。

【滞在型および日帰り帰宅事業の実績】

（1）滞在型帰宅事業の実績

7 月 9 日から 7 月 15 日まで（伊豆地区）	1 泊参加者	4 2 世帯	6 9 名
	3 泊参加者	4 1 世帯	6 9 名
	5 泊参加者	2 2 世帯	3 8 名

7 月 23 日から 7 月 29 日まで（阿古地区）	1 泊参加者	2 8 世帯	5 7 名
	3 泊参加者	3 8 世帯	6 5 名
	5 泊参加者	2 8 世帯	3 8 名

※台風 10 号接近の影響による船便欠航のため 5 泊参加者滞在中

（2）日帰り帰宅事業の実績

7 月 14 日（伊豆・伊ヶ谷地区）	参加者	2 1 世帯	2 8 名
--------------------	-----	--------	-------

7 月 28 日（阿古地区）	台風 10 号接近に伴い中止
----------------	----------------

- A** 現時点で長期的影響の目安におおむね達している観測点
- B** 現時点で長期的影響の目安に達していない観測点
- ...** 現時点で長期的影響の目安に達している観測点であるが、高感受性者が注意を要する月平均時間(分)

伊ヶ谷老人福祉館		
長期	年平均値(ppm)	0.02
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	3.9
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	1,220
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	557
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	86
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	1

三宅支庁		
長期	年平均値(ppm)	0.01
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	2.2
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	638
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	292
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	22
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	0

逢の浜温泉		
長期	年平均値(ppm)	0.21
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	25.6
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	7,988
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	3,965
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	1,277
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	88

三池消防器具置場		
長期	年平均値(ppm)	0.34
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	31.6
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	11,239
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	7,577
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	1,835
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	132

阿古港船客待合所		
長期	年平均値(ppm)	0.05
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	8.2
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	2,476
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	1,218
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	222
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	2

三宅村役場		
長期	年平均値(ppm)	0.42
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	26.9
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	9,934
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	8,046
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	3,420
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	342

薄木生コン工場		
長期	年平均値(ppm)	0.18
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	17.7
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	5,704
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	3,860
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	1,107
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	20

アカコッコ館		
長期	年平均値(ppm)	0.04
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	5.6
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	1,565
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	733
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	144
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	14

坪田公民館		
長期	年平均値(ppm)	0.02
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	3.2
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	808
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	404
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	82
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	2

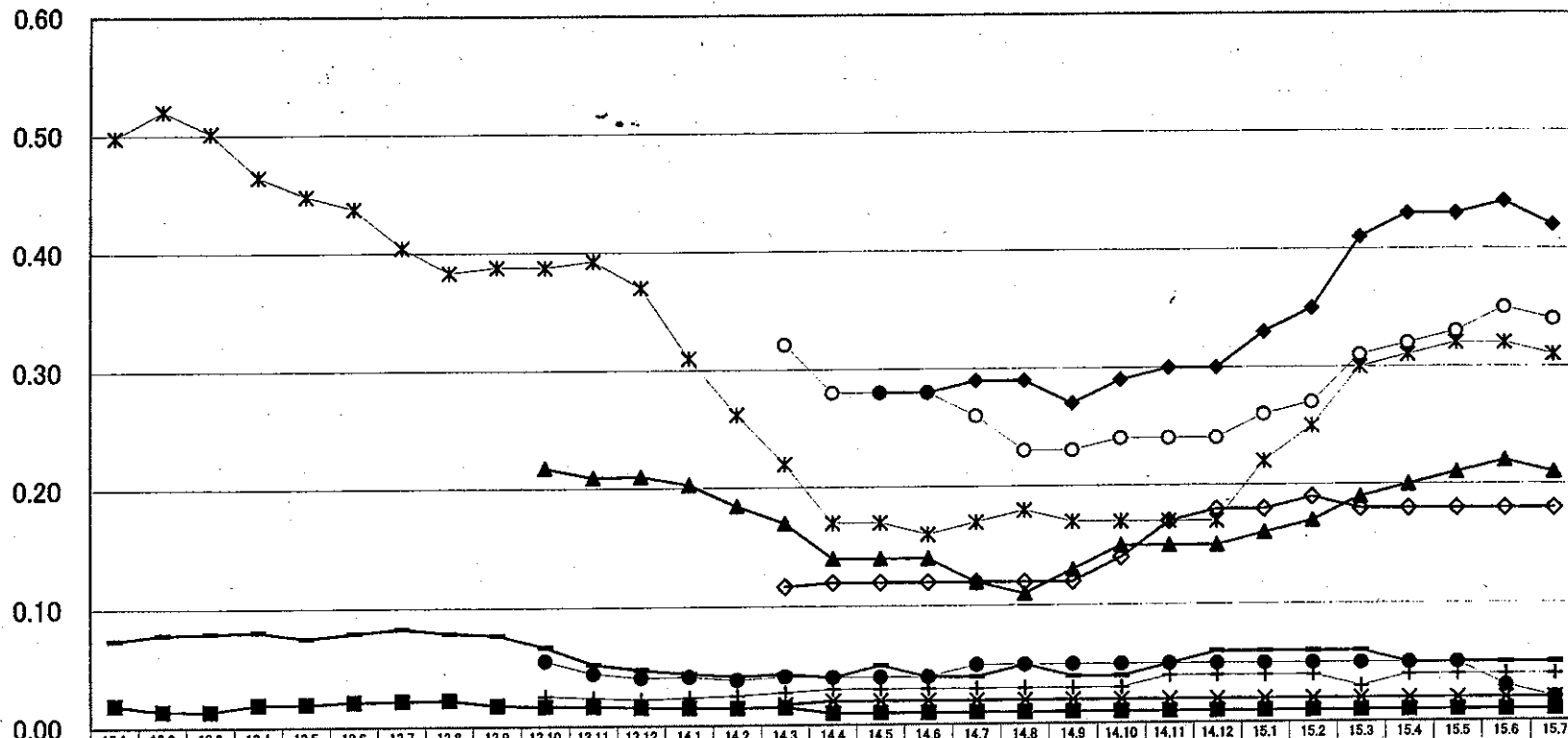
三宅島空港		
長期	年平均値(ppm)	0.31
	1時間値0.1ppm以上の割合(%)	21.2
短期	レベル1(0.2ppm超)月平均時間(分)	7,606
	レベル2(0.6ppm超)月平均時間(分)	6,043
	レベル3(2ppm超)月平均時間(分)	2,723
	レベル4(5ppm超)月平均時間(分)	103

* データは平成15年7月1日から平成16年6月30日まで。

二酸化硫黄濃度の目安に照らした各観測点の状況

濃度 (ppm)

- 三宅支庁
- ▲ 逢の浜温泉
- 三池消防器具置場
- ◆ 三宅村役場
- * 三宅島空港
- × 坪田公民館
- + アカッコ館
- ◇ 薄木生コン工場
- 阿古船客待合所
- 伊ヶ谷老人福祉館



期間

	13.1	13.2	13.3	13.4	13.5	13.6	13.7	13.8	13.9	13.10	13.11	13.12	14.1	14.2	14.3	14.4	14.5	14.6	14.7	14.8	14.9	14.10	14.11	14.12	15.1	15.2	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7	
	13.12	14.1	14.2	14.3	14.4	14.5	14.6	14.7	14.8	14.9	14.10	14.11	14.12	15.1	15.2	15.3	15.4	15.5	15.6	15.7	15.8	15.9	15.10	15.11	15.12	16.1	16.2	16.3	16.4	16.5	16.6	
三宅支庁	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
逢の浜温泉										0.22	0.21	0.21	0.20	0.18	0.17	0.14	0.14	0.14	0.12	0.11	0.13	0.15	0.15	0.15	0.16	0.17	0.19	0.20	0.21	0.22	0.21	
三池消防器具置場															0.32	0.28	0.28	0.28	0.26	0.23	0.23	0.24	0.24	0.24	0.26	0.27	0.31	0.32	0.33	0.35	0.34	
三宅村役場																	0.28	0.28	0.29	0.29	0.27	0.29	0.30	0.30	0.33	0.35	0.41	0.43	0.43	0.44	0.42	
三宅島空港	0.50	0.52	0.50	0.46	0.45	0.44	0.40	0.38	0.39	0.39	0.39	0.37	0.31	0.26	0.22	0.17	0.17	0.16	0.17	0.18	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.22	0.25	0.30	0.31	0.32	0.32	0.31
坪田公民館															0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
アカッコ館										0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04
薄木生コン工場															0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.14	0.17	0.18	0.18	0.19	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
阿古船客待合所	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05
伊ヶ谷老人福祉館										0.06	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.03	0.02

『三宅島海洋資源調査』について（結果）

平成16年8月1日

三宅島観光協会

当協会では昨年11月に引き続き、三宅村からの補助を受けて『三宅島海洋資源調査』として、噴火災害後における三宅島近海のダイビングスポットの現状を把握するため、去る6月8日から10日にかけて、協会のダイビング部員が調査員となって潜水調査を行いました。

その調査結果の概要について、下記のとおりまとめましたのでお知らせします。（各ポイントの概要は裏面に掲載します。）

記

1. 【調査の行程】

- 6月7日（月） 竹芝栈橋発
- 8日（火） 三宅島着。潜水調査（大久保・釜の尻）
- 9日（水） 潜水調査（学校下・メガネ岩・カタン崎・伊ヶ谷港）
- 10日（木） 潜水調査（長太郎池） 終了後に定期船にて帰京。

2. 【ま と め】

三宅島噴火による泥流や降灰は、島内にとどまらず沿岸域にまで及び、三宅島の全域が被害を受けました。島の観光資源の一つであるダイビングスポットも例外ではなく、土石泥流や濁水流入堆積の影響を受け、水中動植物の生息環境に大きな被害が及びました。その被災の形態は、①土石泥流の流入および堆積による被害区域（釜の尻・カタン崎・伊ヶ谷港）、②土石泥流の流入による被害区域（大久保・学校下・長太郎池）、③被害の少なかった区域（メガネ岩）の3つに大別できると思います。

それぞれのポイントは、流入した土石泥流による埋没や土砂移動、更には濁水による影響など、地域によって被害の程度や形態に違いがあり、特に大量の土石泥流が流入して海岸部などに堆積した地域（釜の尻・カタン崎）では壊滅的な状況に追い込まれました。しかし、潮流も手助けして堆積土砂は海底に落ち着きはじめ、現在では被害範囲も最小限にまで回復傾向が進み、海藻類も生息域を広げている様子が見られました。なお、波浪時における堆積土砂の移動や降雨時の泥水の流入は現在も続いており、濁水によって視界不良を引き起こすほか、水底動植物などの生息に悪影響を及ぼしていると考えられます。ダイビングスポットとして、より安定した利活用を図るためにも一日も早い解消策を期待したい。

また海中では、泥などの影響を受けて死滅したサンゴ類も、いたる所で新たな生息が確認されました。海藻類の再生など海底の回復が進んだ状況が目立ち、クマノミ、ペラの仲間やウミウシの産卵など、水中動植物の従来どおりの繁殖行動や元気な生息の実態が確認できたほか、非常に多い魚種の濃い魚影が見られるなど、帰島後の観光資源に安堵感を感じ調査を終えました。

三宅島ダイビングスポットの現況調査結果 (概要) (ダイビングスポット別)

事業名 : 三宅島海洋資源調査
調査日 : 2004年6月8日 ~ 10日

三宅島観光協会

	大久保	釜の尻	学校下	メガネ岩	カタン崎	伊ヶ谷港	長太郎池
天候・水温・透明度	晴れ 23℃・2.5m	晴れ 23℃・1.5~2.0m	晴れ一時曇り 24℃・3.0m	曇り時々晴れ・雨 24℃・2.5m	曇り時々晴れ・雨 24℃・3.0m	曇り時々晴れ・雨 24℃・3m~1.0m	曇り時々晴れ 23℃・1m~6m
噴火災害による被害状況	土石泥流の流入	土石泥流の流入・堆積 (砂浜が形成された)	土石泥流の流入	特に被害なし	土石泥流の流入・堆積 (砂浜が形成された)	土石泥流の流入・堆積 崩落土砂の流入	土石泥流の流入・堆積 地盤沈下
ダイビングスポット周辺の現状	水産生物の量・種類とも豊富で、島の代表ポイントとして健在。海兵部の砂利にスコリアが混じり、歩き安くなっている。水底の細かい泥の堆積が減少してきており、透明度も徐々に回復してきている。	沖合いのアーチが、土砂の堆積によって通り抜けが不能。沖の根周辺の魚影は濃く、満足するダイビングが期待できる。水深10mくらいまで多量の泥流が堆積しているが、それ以上は次第に少なくなっている。	堆積土砂は移動した形跡があるものの、部分的には貝類の死骸が混じった砂利が10cmほど堆積している。魚影は被災前と変わらず多く見受けられる。	海底など噴火前と変わった様子はない。以前にも増して魚影は濃く、島内で最も多くの魚種の群れが確認された。泥流の影響を受けておらず、水中の景観や魚の量、種類とも多い。また、潮流の影響を受け透明度は良好。	岸の近くは泥流が残っているが沖合いでの影響はほとんど回復してきている。魚影は多い。特に、キンギョハナダイの群生は多く、見事であった。	堆積土砂が次第に落ち着き、徐々に回復してきているものの、ダイビングによって泥を巻き上げ、極端に視界不良になる恐れがある。波浪の影響による濁りが懸念される。	地盤沈下によって池内まで波が洗い、タイドプールの様子はなしていない。以前のような「幼魚たちのゆりかご」的な役割は、期待できそうにない。
前回の調査との比較	回復してきている	回復傾向にある	前回調査せず	被災前と同様	回復傾向にある	徐々に回復傾向にある	回復は難しい(魚類は戻っていない)
海藻・貝類・サンゴなど	砂を被って死滅したサンゴが確認された。以前には見受けられなかった巻き貝(黄色と黒の細長い貝)が確認された。クマノミの産卵およびイシモチ類の口内保育などが確認された。	以前には滅多に見ることが出来なかった3~4年ものヒラマサ、カンパチの群れを確認できた。根の上にある海藻には泥の付着が見られた。非常に大きく成長したサザエが確認された。	死滅したサンゴも見受けられるが、元気なテーブルサンゴの群落を確認できた。ニシキベラの産卵を確認。ひろせ貝の数が非常に少なくなっている。	死滅したサンゴの上に元気なサンゴが成長しているのが確認できた。ペラの産卵、お腹の大きなアカハタやウミウシの卵など、生物たちの繁殖が確認できた。被災前に多く見られたひろせ貝はあまり見受けられない。	死滅したサンゴの上に元気なサンゴが成長しているのが確認できた。ペラが産卵のため集団行動を取るなど、生物たちの繁殖が伺えた。被災前に多く見られたひろせ貝はあまり見受けられない。	死滅したサンゴの上に元気なサンゴが成長しているのが確認できた。クマノミのペアを確認したが産卵は見受けられなかった。	海藻は多く生息している。池内のイソギンチャクやサンゴの元気がないように感じた。非常に多く生息していたホンヤドカリの姿も確認できなかった。
確認できた主な魚類	コロダイ・ヒラマサ・ムロアジ・アカヒメジ・ハナミノカサゴ・ホンソメワケベラ・アカハタ他	ヒラマサ・カンパチ・タカベの群れ・ハナミノカサゴ・ミギヤマ・レンテンヤッコ・テングダイ・ブダイ他	アオブダイ・ニザダイの群れ・メジナの群れ・イシダイ・イシガキダイ・ナンヨウツバメウオ・ツムブリ他	アカハタ・ワカウツボ・キンギョハナダイ・ホンソメワケベラ・コガネ・キュウセイン・ニザダイの群れ他	シンジュアナゴの大群落・クダゴンベ・アサヒハナゴイ・クエ・ツバメウオ・スジハナダイ・イサキ他	チヨウチヨウウオ・ニセカンランハギ・オヤビッチャ・クマノミ・オトメベラ・キタマクラ・アカエイ他	ソラスズメダイ・ブチススキベラ・オヤビッチャ・ゴマチヨウチヨウウオ・タカノハダイ・ヘビギンポ他
今後のダイビングスポットとして	○	○	○	◎	◎	△(波浪時等による濁りが懸念)	△(周辺の整備が望まれる)

記憶について

記憶力は個人差が大きいのですが、誰でも年齢が進むと「物忘れ」をします。

この物忘れは、記憶力の低下が関わっています。

記憶するといふ脳の働きには、①記録(情報を取り込む)、②保持(情報を脳に蓄える)、③想起または再生(蓄えた情報を取り出す)の3つがあります。

これら3つのいずれかの働きが悪くなると、記憶力が低下してきます。

40歳をすぎると頃から誰でも多かれ少なかれ、③想起の働きが悪くなってくるのですが、これは「いわゆる」物忘れです。

しかしちょっとしたヒントで思い出したり、後になって思い出したりするような記憶力の低下、生理的なものです。

保健所だより

東京都島しょ保健所三宅出張所 〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 TEL.03(5320)4557 都庁第1本庁舎41F FAX.03(5388)1600

平成16年 夏号 No.276

R100 古紙配合率100%

記憶力が悪くなる過程には次に挙げる「リボーの法則」が当てはまります。

①特に最近の事柄の方が忘れやすい。

②複雑な記憶は単純な記憶より早く失われる。

③知的に取得された記憶の方が、体験的な記憶より忘れやすい。

④感情的な記憶能力は失われにくい。

⑤長い間に身についた習慣などの記憶は最後まで残る。

これらをふまえ記憶力のトレーニングをしてみましょう。

◆記憶力を高めるポイント

何気なく見ているドラマや、ニュースの内容、食事や買い物の内容などをよく思い出してメモしてみましょう。

連続ドラマのストーリーなどをすくすく思い出す訓練を試みましょう。

家族や他の人と会話を楽しくむくも、短期記憶を鍛える訓練になります。

無視できない虫の話 第1話

小さな虫がたくさん出た！の巻

ゆう子さん：博士！ハカセ！！うちにかくさん虫が出たんです！！

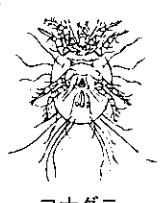
博士：なんじゃね騒々しい。

ゆう子さん：小さな虫がたくさんいるんですよ。超キモチ悪い！！

博士：ホウホウ。それは真っ白な粉みたくはなかったかな？それとも本を開くと時々いるような薄茶色の小さな虫だったかな？それと、どんなところにいたかな？

ゆう子さん：食器棚に真っ白な粉がこぼれてると思ってよく見たら動いてたんですよ！

博士：フムフム。それならコナダニ。



コナダニ

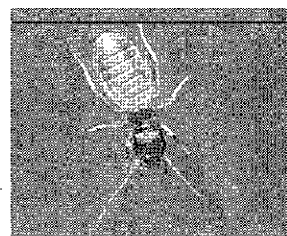
◆コナダニ 体長0.3〜0.6mm。新しい畳や米・乾物類に大量に発生

します。粉をまいたように群れをつくり動き回るため、ちよつとびっくりします。

(博士の言っていたもう一つの虫は?)

◆チャタテムシ 体長1mmほどの淡褐色の小さな虫で、どこの家庭にもいますが、小さいので普段はあまり気が付きません。

カビなどを食べており、湿度・湿度が高くなり、餌となるものがあると大量に発生します。発生場所の通風や乾燥、清掃などが防除の基本です。



チャタテムシ

博士：発生した場所は、風通しを良くし乾燥させ湿気をなくすことじゃ。虫の餌となる食品があるときは、それを片付け掃除機で掃除をして、から拭きをしよう。濡れ拭きは湿気を増やすのでよくないぞ。食品は密閉容器に乾燥剤を入れて保管した方がいいね。

ゆう子さん：ダニって痒くなるの？

博士：食品に発生すること、たくさん発生して気持ち悪いだけで、人への害は無いので安心なさい。

しかし、ゆう子くん。台所の掃除をすいぶんサボっていたんじゃないのかな？

ゆう子さん：あ、バレました？



丈夫な歯は、人生の宝

生涯保ちたい自分の歯

8020

「8020運動」をご存知ですか？

80歳になっても自分の歯を20本以上保ちましょう。という運動です。人の歯は永久歯で32本あります。80歳になったときこのうちの20本以上が残っていると、どんないいことがあるのでしょうか？

SSN20-1

何でも食べられて健康な体を保てる。

しっかりした歯で好き嫌いをせず、1日30品目を目標に堅いものでも気にせずに食べられる。特に野菜を沢山食べると、生活習慣病の予防になります。

丈夫な歯と健康な体は、質の高い社会生活をおくるための基礎条件です。

SSN20-2

いつまでもきれいでいらねえ。

自分の歯がしっかり揃っていると、顔の輪郭がはっきり



歯や口の健康を保つには

歯を失う原因の90%は、虫歯と歯周病です。

これらを予防するためには、健康な歯の時からきちんと歯の管理を行うことが大事です。

そのために一番重要なことは歯磨きです。

現在、歯磨き習慣はかなり定着しており、96.2%の人が毎日歯を磨いています。

しかし、「毎日歯を磨いているのに、虫歯・歯周病になった」という声も聞きます。なぜでしょう？



正しい歯磨きと健康チェック

歯の形や歯並びは、人によって違います。

自分にあつた歯磨き方法を覚えるため、かかりつけの歯医者さんで教えてもらおうのもよいでしょう。

歯磨きの時、自分で鏡を見ながら口の中を観察して、歯や歯ぐきの状態をチェックすることも大切です。

また、虫歯予防にフッ素剤の塗布や口腔清掃・抗菌剤を使用するなど有効です。

歯の健康度チェックのため、1年に1度は歯医者さんで歯を診てもらいましょう。

歯医者さんと仲良くするとともに、歯の健康を守るためには大切なことです。



食中毒に気をつけましょう

梅雨があけると、いよいよ夏本番です。食中毒は年間を通じて起きていますが、特に夏の食中毒の御三家に登場願いました。特徴をしっかりと覚え、健康な夏を過ごしましょう。

菌の特徴は??

○腸炎ビブリオ

気温が高くなる夏に大暴れする食中毒菌が、腸炎ビブリオです。

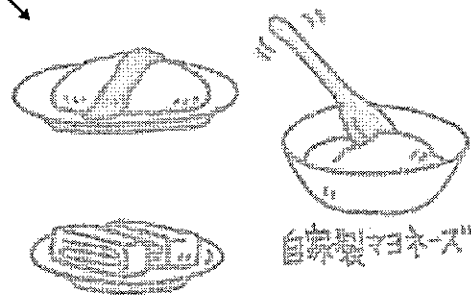
この菌は塩分を好み塩菌と呼ばれる種類の細菌で、海水中や海泥中にいます。海水温が高く(20℃位を越す)なる夏では大量に増殖するようになります。このため、腸炎ビブリオ菌の多い夏にこれた海産の魚介類には、この菌の付着していることが多くなり、食中毒の危険性が高くなります。

海産魚介類の生食(刺身、たたき等)や、まな板などの調理器具や人の手を介して別の食品に付着し、汚染された食品が原因となることもあります。

○サルモネラ

下水や河川など自然界に広く分布しています。この菌は人や家畜、ペットなどを介して食品を汚染して食中毒おこします。なかでも卵の中に潜む「サルモネラ・エンテリテイディス」による食中毒は近年急増し、年によって発生件数の上位を占めるようになってきました。

サルモネラに汚染された



た食肉や鶏卵などを原材料にした食品のうち、マヨネーズなどの加熱していない食品や、卵焼き・焼鳥などが加熱不十分のものは、菌が増殖することになります。

○黄色ブドウ球菌

顕微鏡で見ると、ぶどうの房のように集まっていることからこの名前が付けられました。この細菌は、人のおでこにきびや、水虫等に存在し化膿性の疾患を起こす原因菌です。動物の皮膚、腸管、ホコリの中などに広く身近に存在しています。

この菌は、食べ物の中で増殖する時に「エンテロトキシン」という毒素をつくり、この毒素を食品と一緒に食べるにより、人に危害をおよぼします。菌自体は熱に弱いのですが、この菌の毒素は100℃30分の加熱でも分解されません。

また、あらゆる食品が原因食となる可能性を持っていますが、にぎりめしが発生件数の4割を占めています。弁当、仕出し弁当、和菓子、シュークリームなどが原因食品として多く報告されています。

どんな症状ですか??

○腸炎ビブリオ

食後の潜伏時間は約10時間から24時間(短い場合で2、3時間)で、激しい腹痛、下痢などが主な症状です。発熱はきき、おう吐を起す人もいます。

○サルモネラ

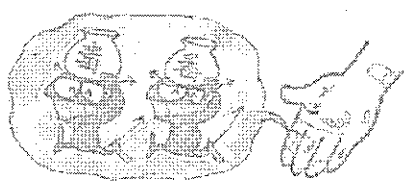
潜伏時間は約5時間から72時間で、腹痛、水様性下痢、発熱(38℃~40℃)が主な症状です。おう吐、頭痛、脱力感、けい怠感をおこす人もいます。

○黄色ブドウ球菌

潜伏時間は1~5時間(平均約3時間)で、はきき、おう吐、腹痛が主症状です。下痢を伴うこともあり、あまり高い熱はでません。

○黄色ブドウ球菌

1 手指などに切り傷があったり、手荒れをしているとき、食品に直接触れたり、調理をしたりに注意。
2 手指の洗浄・消毒を十分に心がけましょう。
3 卵は新鮮なものを選び、購入後は冷蔵保管し、生で食べる場合は表示されている期限内に食べましょう。



予防のポイントは何??

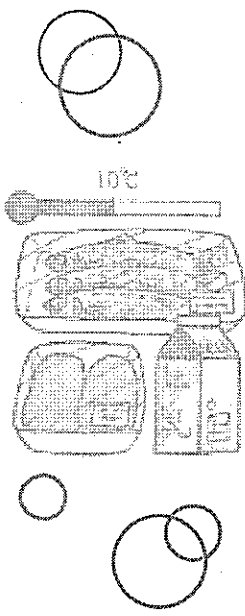
○腸炎ビブリオ

- 1 魚介類は、調理前に流水(水道水)で良く洗って菌を洗い流しましょう。
- 2 魚介類に使った調理器具類は洗浄・消毒して二次汚染を防いでください。
- 3 魚介類を調理したまな板で、続けて野菜などを切らないようにしましょう(まな板を使い分ける)。
- 4 夏の魚介類の生もの(刺身、たたき等)は作ったらすぐ食べましょう。保存するときは、冷蔵庫に入れて、まじょう(できれば4℃以下)。
- 5 冷凍食品を解凍する際は専用の解凍庫や冷蔵庫内で行ってください。

○サルモネラ

- 1 食肉や卵などを取り扱った手指や調理器具は、よく洗って洗浄・消毒しましょう。

◎食品は冷凍・冷蔵庫などで低温(10℃以下)で保存し、菌が増えるのを防ぎましょう。
◎調理の際は食品の中心部まで火が通るように十分に加熱しましょう。
◎調理後はなるべく早く食べるのが、食中毒の一番の予防方法です。
◎食中毒を疑う症状がたときには、早めに医師の診断を受けましょう。



空からの三宅島クルージングのご案内

避難後さまざまな事情により一時帰島が出来ず、故郷三宅島の姿を見ることが出来ない島の方を遊覧飛行用ヘリコプターで空からご案内していただけることになりました。限られた人数ですが、ご家族でご相談の上お申し込み下さい。

この企画は、エクセル航空（株）の三宅島災害支援事業です。

① 期 日 9月20日（月・祝日） 午前10時浦安ヘリポート出発

② 内 容 ヘリコプターによる上空からの三宅島見学

③ 対 象 者 避難後、三宅島に行けていない方

④ 募集人員 18名程度（付き添い者を含む）

⑤ 条 件

- ・ 今まで一度も帰島出来ていない方。または、今は行けなくなってしまった方など。
- ・ 浦安ヘリポートまでの車両送迎および約2時間のフライトに耐えられる方。ヘリの飛行高度は400メートル程度です。島に降りることは出来ません。
- ・ 主治医の了解をとってください。施設入所者は施設の了解をおとり下さい。
- ・ ヘリの同乗付き添いは必要な方に限って認めます。ヘリポートまでの送迎車両の同乗は自由です。
- ・ ご本人及びご家族の責任によるご利用となります。

⑥ 締 切 り 8月23日（月）

⑦ 主 催 エクセル航空株式会社 本社／千葉県浦安市千鳥14番地

⑧ 協 力 三宅島社会福祉協議会／三宅村

※ 施設または避難先自宅からヘリポートまでの福祉車両による送迎費用は三宅島社協で負担します。送迎は東京ハンディキャブ連絡会の協力で行います。

※ 主催者は毎年行っている社会貢献事業で障害のある方等のヘリ利用には実績があります。座席もゆったり座れます。保険は主催者で入っております。

⑨ お申し込み、詳しいお問い合わせは

三宅島社会福祉協議会

〒162-0823 東京都新宿神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階

電話 03-3235-5730 / FAX 03-5229-1651